

# 衆議院経済産業委員会ニュース

平成 26.10.29 第 187 回国会第 4 号

10 月 29 日（水）、第 4 回の委員会が開かれました。

## 1 経済産業の基本施策に関する件

- ・宮沢経済産業大臣、山際経済産業副大臣、高木経済産業副大臣、関経済産業大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

### 勝 俣 孝 明君（自民）

- ・中小企業や小規模企業者を中心とした地域活性化及び地方創生に取り組む宮沢経済産業大臣の意気込みについて伺いたい。
- ・企業における高度技術の開発の促進及び当該技術を事業化・産業化して需要を創出するための経済産業省の具体的取組を伺いたい。

### 國 重 徹君（公明）

- ・LNG 輸入量が世界 1 位の日本と 2 位の韓国が LNG の共同調達に関する協力を進めることの重要性について、宮沢経済産業大臣の認識を伺いたい。
- ・ロボットを医療・福祉機器としてより一層普及促進する必要があると考えるが、産業競争力担当大臣でもある宮沢経済産業大臣の見解を伺いたい。

### 生 方 幸 夫君（民主）

- ・宮沢経済産業大臣は、自らが代表を務めていた自民党の支部が外国人が株式の過半数を保有する企業から献金を受けとっていた件に関して、どのような認識を持っているか。
- ・経済産業省が再生可能エネルギーの接続保留を認めることは、今後 3 年間は再生可能エネルギーの導入を最大限加速していくとの政府方針に反しているのではないか。

### 岸 本 周 平君（民主）

- ・アベノミクスでは第 3 の矢の成長戦略を重視しているが、そもそも我が国の潜在成長率が低下している要因について、宮沢経済産業大臣の見解を伺いたい。
- ・円安下でも輸出が増えず、国内生産の増加・賃金の上昇という好循環にもつながらない現状について、宮沢経済産業大臣の見解を伺いたい。

### 今 井 雅 人君（維新）

- ・宮沢経済産業大臣は、東日本大震災以降これまで福島県を視察してこなかった点について、所管大臣としてどのように考えているのか。
- ・抽象的な表現が多く、原子力事業者の無限責任を定める現行の原子力賠償法を早急に見直す必要性について、宮沢経済産業大臣の認識を伺いたい。

### 鈴 木 義 弘君（維新）

- ・宮沢経済産業大臣は、政治家が説明責任を果たすとの観点から、政治資金規正法や公職選挙法の在り方についてどのように考えているのか。
- ・中小企業基盤整備機構が行う高度化事業は、案件により、都道府県と同機構とで審査・管理体制が分かれているが、国が一貫性を持って行うべきではないか。

### 小 池 政 就君（維新）

- ・宮沢経済産業大臣は、再生可能エネルギーの接続保留が拡大した原因に関し、経済産業省の不作为等を含め、どこに構造的な課題があると考えているのか。
- ・管区内での電気の供給量が需要量を上回っている中で、管区外からの他の一般電気事業者の余剰電力の受入も接続保留の対象とされているのか。

### 杉 田 水 脈君（次世代）

- ・新・旧経済産業大臣の政治と金の問題については、政治倫理審査会において議論すべきではないか。
- ・原発のテロリストからの攻撃に備えて、自衛隊を配備すべきと考えるが、宮沢経済産業大臣の原発に関する危機意識について伺いたい。

## 柏 倉 祐 司君 (みんな)

- ・海外の状況と比べて、日本で高値となっているガソリンやLNGの価格を低減するための方策を伺いたい。
- ・経済産業省で検討しているガスシステム改革におけるLPガスの役割の位置付けと、LPガス事業者に対する施策の在り方について伺いたい。

## 塩 川 鉄 也君 (共産)

- ・原子力損害賠償・廃炉等支援機構が有する東京電力株の売却で充当すべき除染費用はどれくらいになるのか。
- ・東京電力の存立に関する重要な権限を有している経済産業大臣が東京電力株を保有していることについて、宮沢経済産業大臣の認識を伺いたい。